

マーケットの動き（2022年5月30日～6月3日）

先週の国内株式市場は、前週末比で上昇しました。

過度な景気後退懸念が薄らいだことで買戻しが入り上昇してスタートしました。その後は、原油価格の高騰や米国金利の上昇が悪材料となった一方、円安の進展や中国の都市封鎖解除が好材料となり、高値圏でもみ合いとなりました。週末にかけては、米国民間雇用サービス会社が発表した非農業部門の雇用者数の伸びが市場予想を下回ったことから、FRB（米国連邦準備制度理事会）の金融引き締め加速懸念が後退し、上昇して週を終えました。

投資環境見通し（2022年6月）

国内株式相場は底堅く推移すると予想

国内株式相場は、米国や欧州の不安定な景気動向から上値は抑えられやすい状況です。しかし、国内では、企業業績の上振れが期待されることや大規模な自社株買い、海外に比べて出遅れ感のあった経済活動再開に対する期待、日銀による緩和的な金融政策や政府による追加財政政策の余地などから、景気のさらなる悪化の可能性は低いとみられることから、国内株式相場は底堅く推移するとみています。

	6月3日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	1,933.14	2.43%	1.83%	▲1.26%	▲1.30%
日経平均株価	27,761.57	3.66%	3.52%	▲0.96%	▲4.46%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202206_outlook.pdf

日経平均株価、TOPIXの推移



TOPIX規模別指数の推移



※2021年5月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>